

学校教育目標

- ・意欲をもち 自主的に学習する生徒
- ・人と郷土を愛し 進んで奉仕する生徒
- ・健康で はつらつとした生徒



<分散登校～授業中の様子>

《学校運営協議会本格実施3年目を迎えました！》

下野市各校の「学校運営協議会制度」も、本格実施から早3年目を迎えました。本校においても、毎年、学校の教育活動を内から外からご確認いただき、大変貴重なご意見をいただいております。

本年度第1回の会議を4月20日(月)に予定していましたが、新型コロナウイルス感染症対策のため、学校にお集まりいただくことなく、当日の資料を委員さんに送付して、ご意見をいただく形になりました。なお、本年度の委員の方々は以下のとおりです。学校運営協議会においても、円滑な小中連携を図るため、本年度より、本校並びに国分寺小学校の教頭が、互いの学校運営協議会の委員になることにしました。

<敬称略>

1	平井 獻	5年目 元PTA会長	7	賀田 浩邦	新任PTA会長
2	間中 康夫	4年目 博物館職員	8	高橋 修一	新任国分寺小学校教頭
3	中祖 光隆	4年目 地域住民	9	石崎 雅也	3年目 校長
4	大久保 武	3年目 地域住民	10	石崎 真清	新任 教諭(地域連携教員)
5	伊藤 敬子	3年目 地域住民		上野 一成 (オブザーバー)	国分寺公民館職員 (学校地域協働活動推進員)
6	大山 美千子	新任 地域住民			

第1回の会議の主たる内容の1つに「本年度の学校教育目標並びに学校経営方針」への承認をいただくことがあります。そこで、「目指す生徒像・学校像・教師像」や「学校経営の方針と本年度の努力点」に係る資料をお読みいただき、委員の方々の承認をいただくとともに、ご意見をお寄せいただきました。

その内の「学校経営全体構想図」については、裏面に載せておきましたので、保護者の皆様にもご確認いただきますようお願いいたします。特に、本年度は、「新型コロナウイルス感染症への対策」と並びに「『地域とともにある学校』づくりの推進」を重点事項として挙げてあります。後者については、本校が本年度、県教委より「学校と地域の連携推進モデル事業(頑張る学校・地域!応援プロジェクト)」の研究指定校に選ばれたことも機に、力を入れていきたいと考えています。

それでは、委員の皆様には、一年間いろいろとお世話になりますが、よろしくお願ひいたします。

<委員の皆様からのご意見>

- 新型コロナウイルス感染症対策や学校臨時休業の影響に対し、学校行事や部活動大会のもち方、授業の進め方等に多大な配慮を要する。
- 「すべての活動は子供(生徒)達のために」を基本理念に、楽しく学べる学校にしてほしい。
- 人間の脳が持つ本能の1つ「知りたい」を刺激する必要がある。よって、教師の役割は生徒達に興味をもってもらうことである。興味をもち、授業や学校が楽しいと感じれば、教育目標も簡単に達成できるであろう。
- 生徒達に本を読んでもらう方法として、担任の先生方がホームルーム等で、自分が読んでおもしろかった本を紹介するというものがある。
- 学校教育目標(目指す生徒像)等に、特に問題は見受けられない。
- 新型コロナウイルス感染症対策では、学校として苦悩することも多いであろうと推察する。
- 現在の「日本式学校教育」の優れた点を生かしながら、時代の進歩に伴う課題、予測が難しい社会の中で、生き抜く力をつけるための実践的教育の必要性を強く感じる。
⇒地域とともにある学校を目指し、学校と地域が一体となって教育を行っていく、解決していくことが重要である。

<その他>

- 先生方のご健康を祈り、生徒の皆さんのが一日も早く元のような生活を送れますよう、願っています。
- 誰も経験したことのない状況の中、頑張ってください。
- 他校の資料を拝見する機会は初めてであるため、大変参考になりました。(国小教頭先生)

令和2年度 下野市立国分寺中学校 学校経営全体構想図

